別添5

都市再生整備計画（第5回変更）

姫路駅周辺地区

ひめじえきしゅうへん

兵庫県　姫路市

ひめじし

平成27年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市（ひめじし）	地区名	姫路駅周辺地区（ひめじえきしゅうへんちく）	面積	54.6 ha

計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 26 年度	交付期間	平成 23 年度 ～ 平成 26 年度

目標

大目標：世界文化遺産・姫路城を擁する中核市および西播磨テクノポリスの母都市にふさわしい、賑わいと感動あふれる姫路駅周辺の再生

目標1：交通結節機能の強化や良好な都市景観の形成により、市街地の活性化やコンパクトシティの実現に貢献する拠点づくり

目標2：姫路らしいシンボル空間やもてなし空間の中で、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり

目標3：行政と市民、民間事業者等の連携・協働でのまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

●まちづくりの経緯

◇世界文化遺産姫路城を擁する姫路市の都心部は、本市を代表する都市イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・交通の中心としての役割を果たしてきた。また、市民にとっては、買物や飲食はもとより文化や芸術などに触れ、出会いや楽しみの場となっている。しかし、近年、都心部を取り巻く環境や市民意識の変化などにより、今日まで果たしてきた役割に陰りが見られるようになってきた。

◇大手前通りを中心とする地区は、かつては城下町として栄え、また、姫路市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたが、現下の社会経済情勢の変化を踏まえ、都心回遊の拡大や都心居住の促進などにより、賑わいのある都心への再生が求められている。

◇姫路駅を中心とする地区は、鉄道高架事業を契機とした総合的・一体的な都市基盤の整備とともに、今後、キャスティ21の推進など新たな都市機能の導入により、姫路の未来を担う創造空間として大きな期待が寄せられている。

課題

◇現在の姫路駅北側の駅前では、自動車交通の流入や数多くのバス・タクシー車輌の待機により、交通環境が悪化し、公共交通機関の乗換え利便性が損なわれているとともに、播磨の玄関口としての良好な景観形成を阻害している。

◇さらに、自動車交通が優先されているため、都心部の回遊性の確保や歩行者に対するバリアフリー化への配慮がなされていないだけでなく、市民はもとより観光客にとって、くつろぎ・憩いの空間が不足している。

◇また、駅前の交通混雑の緩和や良好な都市景観の形成のため、行政である姫路市とバス・タクシーなどの交通事業者等との役割分担を明確にした上で、まちづくりを推進していく必要がある。

将来ビジョン（中長期）

◇『姫路駅周辺は、本市の都市づくりの基本理念である「3つの共生」（人と人との共生、自然との共生、歴史・文化との共生）が具体的な姿となって表現される場所として、人々が憩い・くつろぎ交流し、水と緑があふれ、姫路城の外濠などの歴史資源を現在に継承する空間を創出する。』（姫路市総合計画　H21．3）

◇『鉄道高架事業や姫路駅周辺土地区画整理事業とあわせ、キャスティ21の推進により高次都市機能を集積し、播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市として、21世紀に大きく躍進する魅力と活力あふれる都心の創出を目指す。』（姫路市都心部まちづくり構想　H18．3）

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.JR姫路駅観光案内所利用者数	人／年	JR姫路駅観光案内所の年間利用者数の合計（出典：姫路市観光交流推進室による調査）	都心部の魅力や交通利便性の向上により、増加する観光客を示す指標として、5%増加を目指す。	348千人	H21	365千人	H26
2.市民参加型イベントの実施回数	回／年	姫路駅北駅前広場の中に整備されるサンクンガーデンなどの広場空間や、大手前通りの歩道空間における、市民参加型イベントの年間実施回数。	まちづくりワークショップの開催等を通じて、市民参画の気運を高めることにより、これまでに実績のない、駅前広場における市民参画型イベントの、年5回の開催を目指す。	0回	H22	5回	H26
3.鉄道乗車人数増加率の向上	%／年	JR姫路駅及び山陽電鉄姫路駅の年間乗車人数の増加率（過去5年間平均）	横ばいに推移している年間乗車人数について、都心部の魅力や交通利便性の向上に加え、市民参加型のイベント等の開催により増加率を倍増させる。	0.7%	H20	1.4%	H26
4.歩行者・自転車通行量	人／年	毎年4月29日に実施する中心市街地通行量調査のうち、御幸通り3地点における歩行者（車椅子・自転車含む）数の合計	まちの賑わいや回遊性の向上により、中心市街地の活性化を測定する指標として、通行量の15%増加を目指す。	65,633人	H21	75,478人	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針１　姫路の顔となる新たな都市拠点づくり ◇播磨の中核市としてのポテンシャルを向上させるため、消費流出を抑制するとともに集客力を強化する必要があることから、高次都市機能の集積を図る。 ◇姫路駅を中心とした都心の活力を取り戻すために、都市の持つ機能を集積させるとともに、駅を中心として都心部の回遊性を向上させる。 ◇コンパクトシティを実現するため、 都心部の魅力を向上させるとともに、交通結節点機能の強化を図る。	■地域生活基盤施設（基幹事業／姫路駅北駅前広場歩行者デッキ整備事業）、 ■地域生活基盤施設（基幹事業／姫路駅東地区歩行者デッキ整備事業）、 ■高質空間形成施設（基幹事業／姫路駅北駅前広場大屋根（眺望デッキ）等整備事業）、 ■高質空間形成施設（基幹事業／大手前通り（十二所前線以南）再整備事業）、 ■土地区画整理事業（基幹事業／駅南土地区画整理事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／姫路駅南駅前広場空間検討業務）、 □地域創造支援事業（提案事業／商店街アーケード等整備事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／姫路駅北西デッキ広場等整備事業）
整備方針２　来街者をもてなし、時を感じ人が交流する空間づくり ◇姫路城と相対する姫路駅前において、新たなシンボル空間を創出し、市民にとっては誇らしく思い、観光客や来街者にとっては印象に残るまちの整備を目指す。 ◇時を感じ人が交流する空間を創出するとともに、来街者を歓迎するおもてなしの空間を創造する。 ◇まちと一体となった心地よい空間を創出するため、市民はもとより来街者の滞在環境や回遊性を向上させる。	■地域生活基盤施設（基幹事業／姫路駅北駅前広場歩行者デッキ整備事業）、 ■地域生活基盤施設（基幹事業／姫路駅東地区歩行者デッキ整備事業）、 ■高質空間形成施設（基幹事業／姫路駅北駅前広場大屋根（眺望デッキ）等整備事業）、 ■高質空間形成施設（基幹事業／大手前通り（十二所前線以南）再整備事業）、 ■高質空間形成施設（基幹事業／既存地下通路改修事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／姫路駅南駅前広場空間検討業務）、 □地域創造支援事業（提案事業／商店街アーケード等整備事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／姫路駅北西デッキ広場等整備事業）
整備方針３　官民の連携・協働による、創り・守り・育てるまちづくり ◇官民協働での魅力ある都市景観を形成するため、民間事業者との協働による品格ある都市景観の形成を目指す。 ◇市民の手による持続的なまちづくりを行うため、市民参加のワークショップを開催するなどにより市民の意見を聞きながら、都市空間の利活用と管理運営を目指す。	■地域生活基盤施設（基幹事業／姫路駅北交通広場（新駅ビル）整備事業）、 ■土地区画整理事業（基幹事業／駅南土地区画整理事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／商店街アーケード等整備事業）、 □地域創造支援事業（提案事業／姫路駅北西デッキ広場等整備事業）、 □まちづくり活動推進事業（提案事業／まちづくりワークショップ及び専門家による検討会議）

その他

●持続的なまちづくりについて

・市民の手による持続的なまちづくりを行うため、市民参加のワークショップを開催するなどにより市民の意見を聞きながら、都市空間の利活用と管理運営を目指す。

様式3　目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,073.7	交付限度額	1,383.1	国費率	0.45

（金額の単位は百万円）

基幹事業

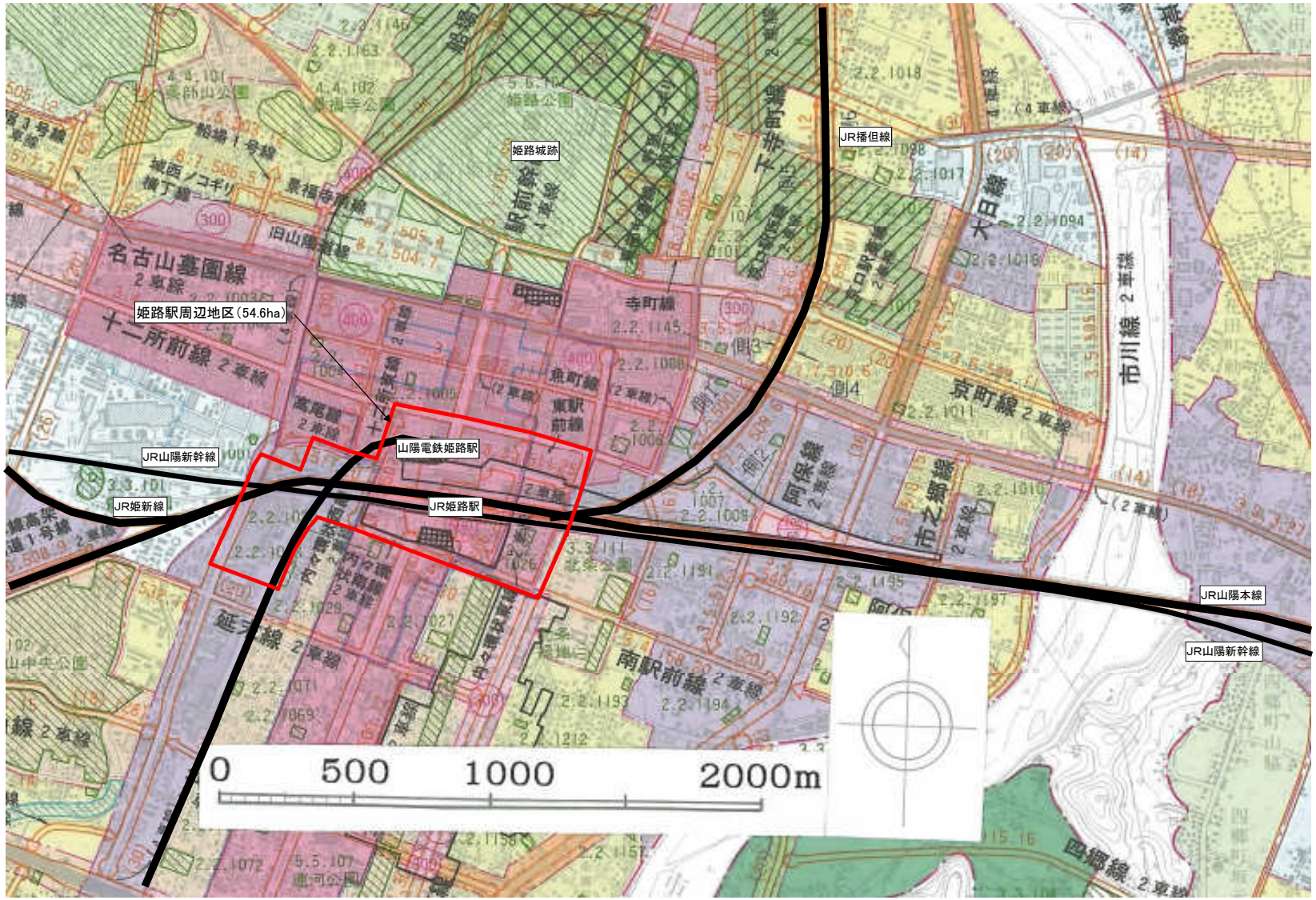
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路														
道路														
道路（地方都市リノベーション事業）														
公園														
公園（地方都市リノベーション事業）														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設			姫路市	直		H23	H26	H23	H26	1,168	1,168	1,168	0	1,168
高質空間形成施設			姫路市	直		H23	H26	H23	H26	1,367	1,367	1,367	0	1,367
高次都市施設														
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業（地方都市リノベーション推進施設）														
土地区画整理事業		駅南土地区画整理事業（姫路駅南西地区）	姫路市	直	A=7.4ha	H19	H28	H23	H26	1,022	154	154	0	154
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										3,557	2,689	2,689	0	2,689 …A

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														
	姫路駅南駅前広場空間検討業務	ー	姫路市	直	A=12,300㎡	H24	H24	H24	H24	8.4	8.4	8.4	0	8.4
	商店街アーケード等整備事業	ー	商店街振興組合	間	L=180m、W=9m	H24	H24	H24	H24	263	263	263	0	263
	姫路駅北西デッキ広場等整備事業	ー	神姫バス㈱	間	L=47m、W=4m、A=340㎡	H25	H26	H25	H26	109	109	109	0	109
事業活用調査	事業効果分析	ー	姫路市	直		H26	H26	H26	H26	2.9	2.9	2.9	0	2.9
まちづくり活動推進事業														
	まちづくりワークショップ及び専門家による検討会議	ー	姫路市	直	ワークショップ開催（計6回）、専門家会議開催（計6回）	H24	H24	H24	H24	1.4	1.4	1.4	0	1.4
合計										384.7	384.7	384.7	0	384.7 …B
													合計(A+B)	3,073.7

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
効果促進事業	姫路駅周辺公共駐車場整備事業	姫路市	国土交通省	A=5200㎡		〇			23	26	176
効果促進事業	都心部まちづくりのための社会実験	姫路市	国土交通省	社会実験等		〇			23	26	55
土地区画整理事業	姫路駅周辺土地区画整理事業	姫路市	国土交通省	A=45.5ha		〇			1	28	41,500
道路	3.4.517号高尾線	姫路市	国土交通省	L=390m		〇			21	24	182
道路	JR姫路駅東側自由通路整備事業	姫路市	国土交通省	L=100m		〇			22	26	398
道路	バス・タクシー待機所整備事業	姫路市	国土交通省	A=9000㎡		〇			23	24	137
合計											42,448

都市再生整備計画の区域

姫路駅周辺地区（兵庫県姫路市）	面積	54.6 ha	区域	北条口一丁目、南駅前町、南町、豆腐町の全部、朝日町、東駅前町、駅前町、西駅前町、久保町、南畝町、高尾町、東延末、延末の一部